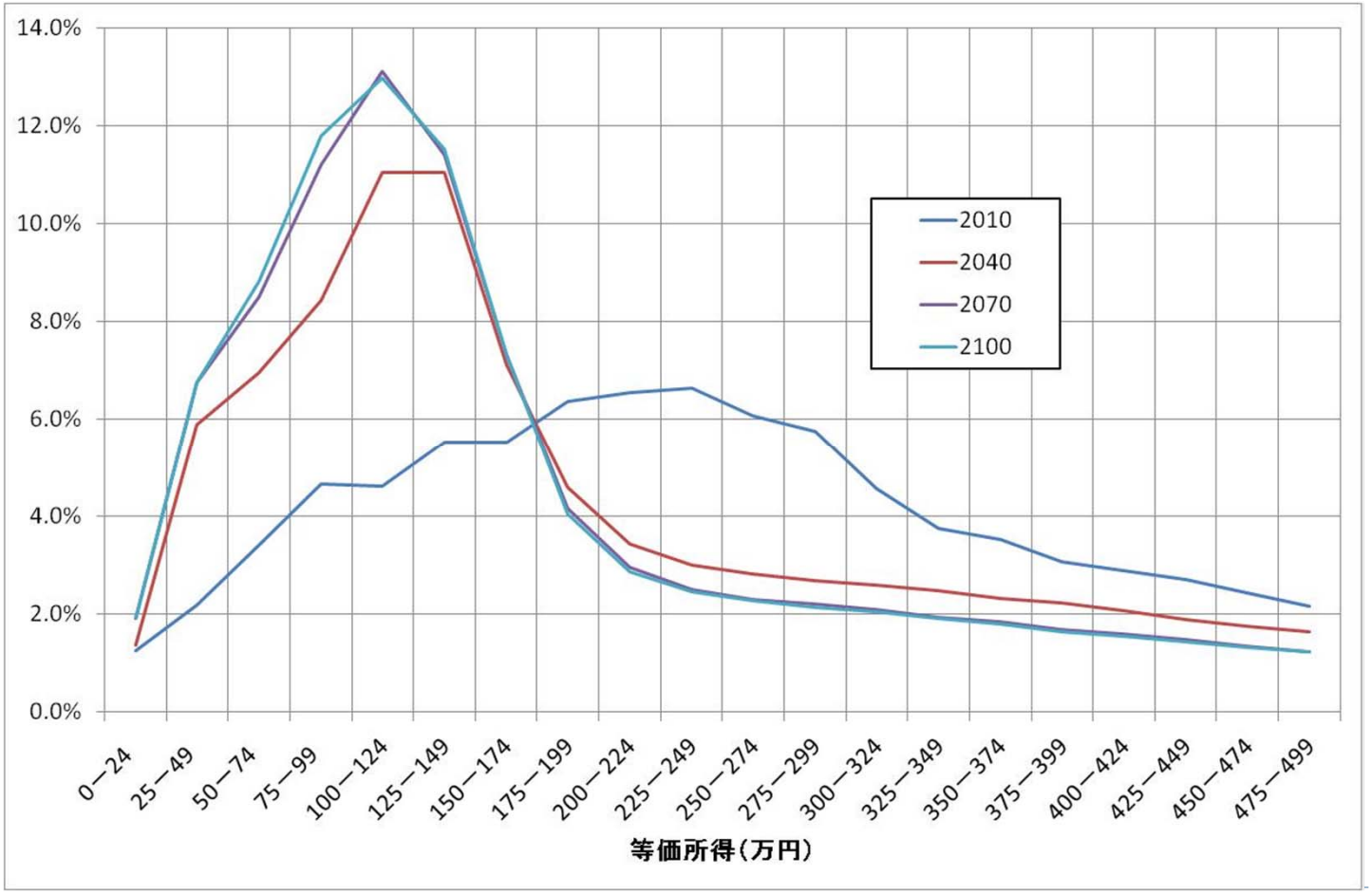
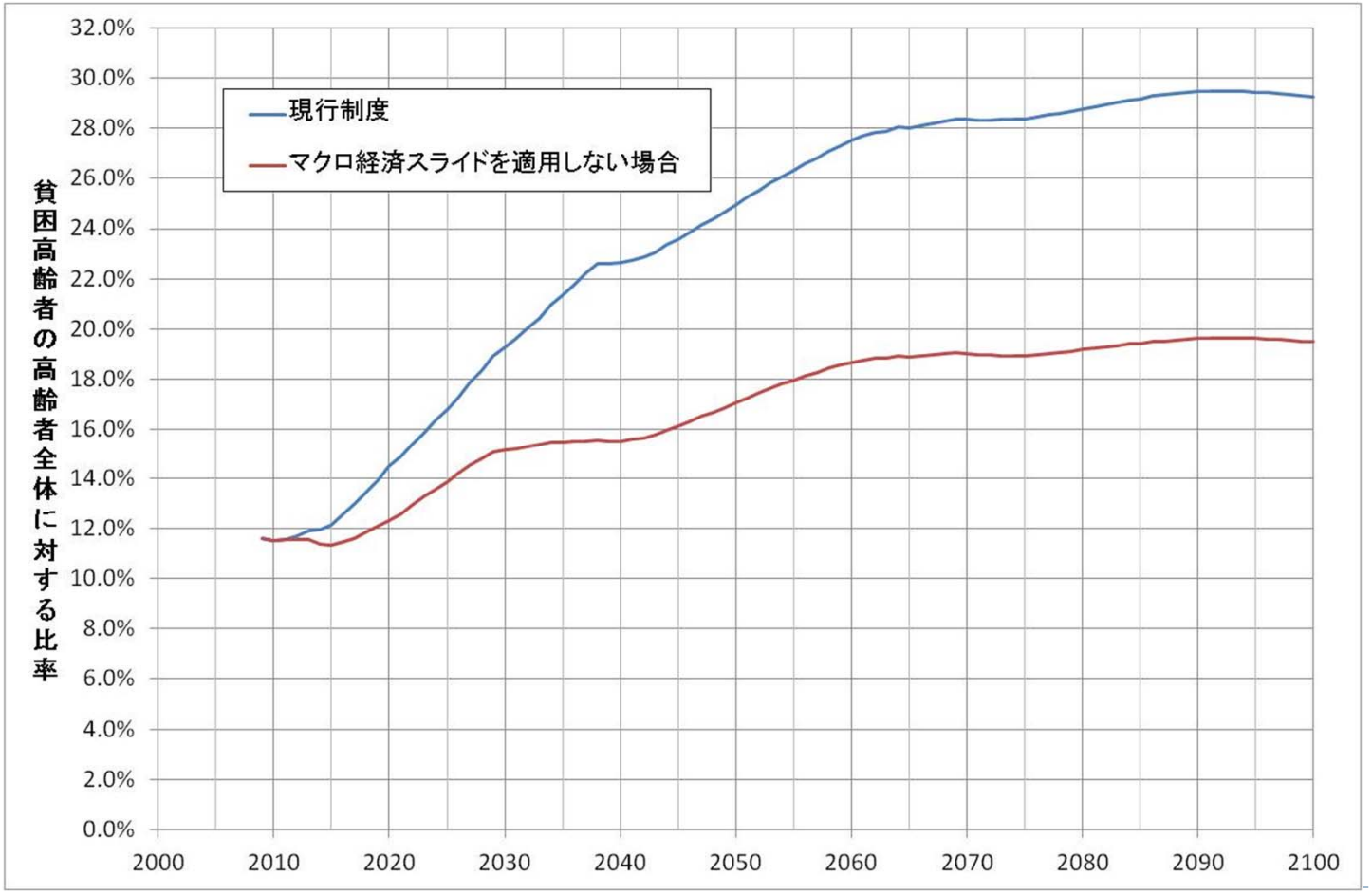
高齢者の等価所得分布の将来見通し

- 等価所得は、世帯の稼働所得と年金の合計額を世帯人員の平方根で除したもの
- 世代内の格差は縮小するが、所得水準の低い高齢者の割合が大幅に上昇
- 一人暮らしの高齢者が増えることが決定的な要因
- 一人暮らしリスク（特に女性）は、75歳以上で著しく高まる



貧困高齢者比率の将来見通し

- 等価所得100万円未満を「貧困」と定義
- 現行の年金制度を維持した場合、貧困高齢者比率が著しく上昇
- マクロ経済スライドの実施（特に基礎年金）が貧困高齢者比率に大きな寄与
- 一律削減のマクロ経済スライドは、世代内格差を改善しない